

目次

放送局を受信する	3
準備	
箱から出したら	4
接続する	4
放送局を受信し登録する (プリセット)	6
チューナーのいろいろな機能	
より良い受信のための機能	8
放送局名を表示する	9
録音レベル調節に便利な キャリブレーショントーン	9
タイマーを使って予約受信する	10
その他	
使用上のご注意	11
故障かな?と思ったら	11
保証書とアフターサービス	裏表紙
主な仕様	裏表紙

FM/AM ステレオ チューナー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。
 お使いになる前に、この取扱説明書をお読みください。
 お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、
 必ず保存してください。

ST-SA5ES

安全上のご注意

電源について

- 家庭用電源コンセント(AC100ボルト)でお使いください。本機は国内用ですので、海外ではお使いになれません。
- 電源コードは無理に曲げたり、重いものを載せたりしないでください。傷のついたコードは火災や感電の原因になりますので、お使いにならないでください。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持ってください。
- 長い間お使いにならないときは、電源コードをコンセントから必ず抜いてください。

安全にお使いいただくために

- キャビネットは絶対にはずさないでください。内部に手を触れると感電することがあり、大変危険です。
- 内部に液体をこぼしたり、燃えやすいものや金属などを落とすと、火災や感電、故障の原因になります。
- アースコードを絶対にガス管にはつながないでください。ガスに引火して爆発する恐れがあります。
- 屋外アンテナを使用中に雷が鳴りだしたら、早めに電源コードをコンセントから抜いてください。このとき、アンテナ線には絶対に触れないでください。

異常や不具合が起きたら

万一、異常や不具合が起きたときは、すぐに電源を切り、電源コードを必ずコンセントから抜いて、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご連絡ください。

この取扱説明書の使いかた

- 「準備」(4～7ページ)をご覧ください。接続などの準備を済ませてください。
- 基本的な使いかたは、「放送局を受信する」(3ページ)をご覧ください。
- この取扱説明書では、主に本体での操作のしかたを説明しています。
- リモコンでは、本体と同じ表示のボタンを使って、同様に操作できます。
- この取扱説明書では、次の記号を使っています。



知っているとは便利な情報です。

AMステレオ放送を受信することができます

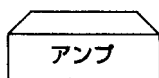
本機ではAMステレオ放送を受信して楽しむことができます。

AMステレオ放送は規格上、既存のモノラルAM放送との両立性を維持するためにその帯域が7.5 kHzから10 kHzに制限されます。既存のAMモノラル放送と比較すると臨場感のある音楽や野球の実況放送を楽しむとはいえ、FM放送のような15 kHzまでの伸びのある音域まで放送局から送出することは不可能です。したがって、AMステレオ受信時の再生特性も局から送られてくる帯域によって制限されます。

放送局を受信する

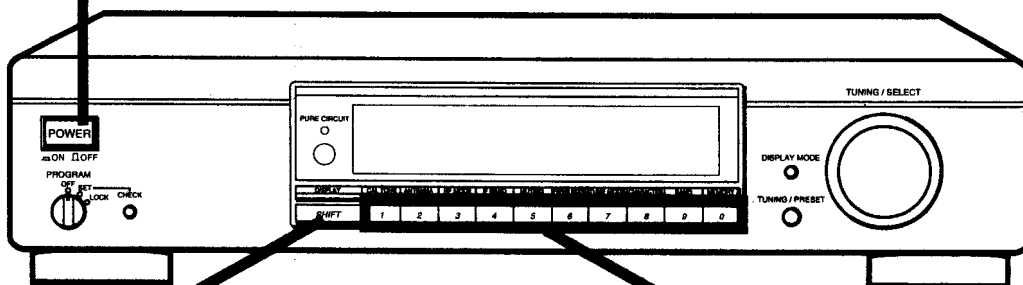
登録(プリセット)されている放送局を受信します。

接続が済んでいないかたは、4～6ページをご覧ください。
放送局の登録が済んでいないかたは、6～7ページをご覧ください。



1 アンプの電源を入れ、入力をチューナーに切り換える。

2 電源を入れる。

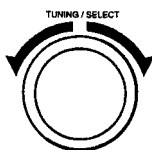


3 SHIFTボタンを押して表示窓でA, B, C, Dを選ぶ。 **4** 希望の番号を押す。

💡 登録した内容がわからないときや、どのような放送がされているか調べたいときは

- 1 TUNE MODEボタンを押して、「AUTO」を表示させます。
- 2 TUNING/PRESETボタンを押して、「PRESET」を表示させます。
- 3 TUNING/SELECTつまみを少し回し、番号が変わり始めたらずつまみを手から離します。

プリセット番号の小さいほうを受信する



プリセット番号の大きいほうを受信する

登録した局が順番に約4秒間受信され、登録内容(プリセット番号、周波数、設定した機能など)を表示します。

4 希望する局が受かったらTUNE MODEボタンを押します。

「AUTO」は消えるので、もう1度行うときは手順1から始めてください。

💡 登録した局をひとつずつ受信するときは

- 1 TUNE MODEボタンを押して、「AUTO」を消します。
- 2 TUNING/PRESETボタンを押して、「PRESET」を表示させます。
- 3 TUNING/SELECTつまみを回します。回すごとに登録した局が順番に受信され、登録内容(プリセット番号、周波数、設定した機能など)を表示します。

箱から出したら

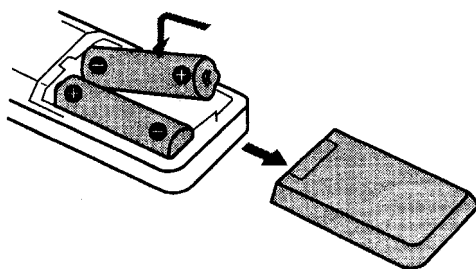
次の付属品がそろっているかを確認してください。

- AM ループアンテナ (1)
- FMフィーダーアンテナ (1)
- 接続コード (1)
- アンテナコネクター(75/300Ω, F型) (1)
- リモコン (1)
- ソニー乾電池SUM-3(NS) (2)
- ソニーサービス窓口・ご相談窓口のご案内 (1)
- 保証書 (1)

もし、付属品がそろっていないときは、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご連絡ください。

リモコンに電池を入れる

⊕と⊖の向きを合わせて、単3形乾電池(付属)2個を入れる。



💡 乾電池の寿命は約6か月です。

残りが少なくなると、リモコンで操作できる距離が短くなります。これを目安にして、2個とも新しい乾電池に交換してください。

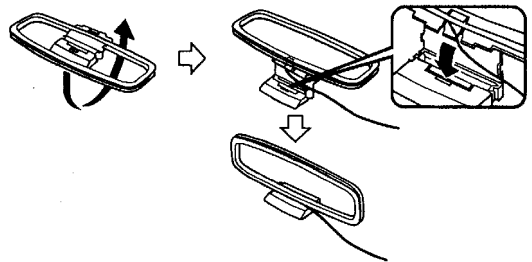
ご注意

- 乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。
 - 新しいものと使ったもの、または種類の違うものを混ぜて使わないでください。
 - 充電しないでください。
 - 長い間リモコンを使わないときは取り出してください。
 - 液もれしたときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを使うときは、リモコン受光部に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにご注意ください。リモコンで操作できないことがあります。

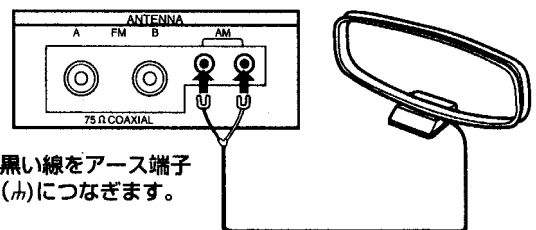
接続する

AMアンテナをつなぐ

1 付属のAMループアンテナを組み立てる。



2 AMループアンテナをつなぐ。



黒い線をアース端子(Ⓜ)につなぎます。

3 アンテナを最も受信状態の良い方向に向ける。

AMループアンテナは、一定の角度から来る電波を強く感じる性質(指向性)があります。最も受信状態がよい方向に向けてください。

AM放送録音中に、ピーという雑音(ビート音)が出るときはAMループアンテナを雑音の消える位置に動かしてください。

💡 付属のAMループアンテナを動かしても受信状態がよくなるらないときは

5m以上のビニール線をAMループアンテナと一緒にAMアンテナ端子につないでください。ビニール線は窓際や屋外になるべく高く、水平に張ると効果的です。このとき、AMループアンテナははずさないでください。

FMアンテナをつなぐ

屋外アンテナを立てると音質の良いFM放送が楽しめます。付属のFMフィーダーアンテナは、FM屋外アンテナを立てるまでの間、一時的にお使いください。

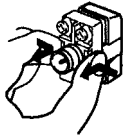
75Ω同軸ケーブル(別売り)をつなぐ

同軸ケーブルを使うと、雑音の影響を受けにくくなります。同軸ケーブルは3C-2Vが適当です。

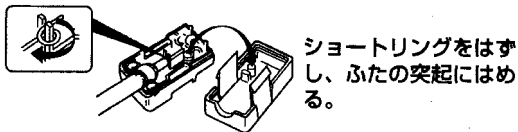
1 ケーブルの先端を処理する。



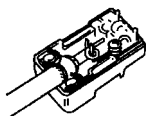
2 付属のアンテナコネクターのふたをはずす。



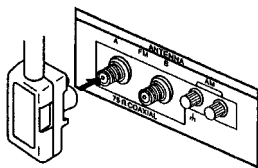
3 ネジをゆるめ、芯線を根元まで差し込んで巻きつける。



4 ネジをしめ、ふたをはめる。



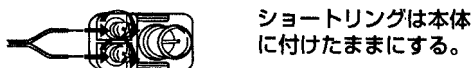
5 FMアンテナ端子へつなぐ。



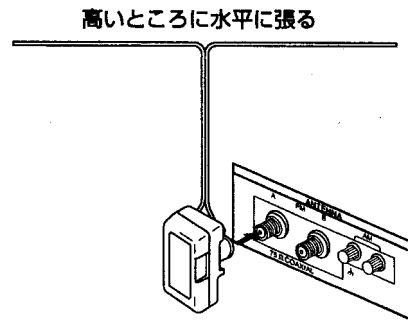
付属の300Ωフィーダーアンテナをつなぐ

フィーダーは周囲の雑音を拾いやすいので、引き回しには十分注意してください。

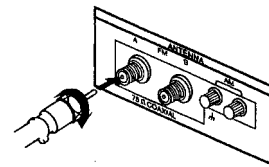
1 先端を巻きつけて、ネジをしっかりとしめる。



2 FMアンテナ端子へつなぐ。



市販のF型コネクタをつなぐ



2本のFMアンテナを使うことができます

2つの異なる放送局について、それぞれ最適受信状態が得られるように方向や高さを変えて2本のアンテナを立てることができます。また、Aアンテナでは受信できない局でも、Bアンテナを使うと受信可能になったりします。隣接局どうして方向が違う場合も、アンテナを切り換えることで選択度が良くなります。

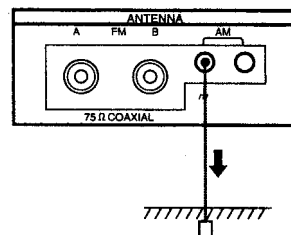
FMアンテナ端子A、Bにそれぞれのアンテナをつないでください。

接続したアンテナは、本体前面のANTENNAボタンでAかBに切り換えてください。

1本のマストを共用する場合は、2つのアンテナを2m以上離して取り付けると、アンテナどうしの干渉を避けることができます。

アース線をつなぐ

市販のビニール線をアース端子(カ)につなぎ、もう一方の端を銅製の金属棒につないで地中に埋めます。または鋼管製の水道管につなぎます。ガス管につなぐのは危険です。絶対にやめましょう。



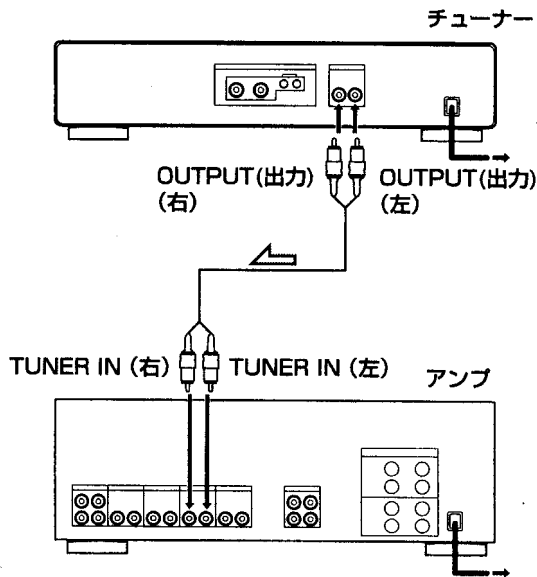
外部アンテナを立てたときは

雷による危険を防ぐため、必ずアースをつないでください。雑音が多い場合や、電波が弱い場合は、アース線をつなぐとハムや雑音が減ることがあります。

アンプを接続する

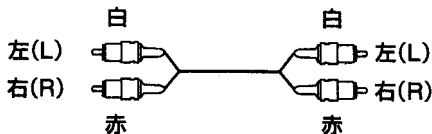
チューナーとアンプをつなぎます。接続するときは、機器の電源を必ず切ってください。

つなぐ端子の位置は、次の図でご確認ください。

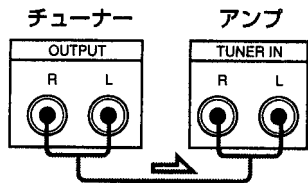


➡ : 信号の流れ

1 付属の接続コードをつなぐ。

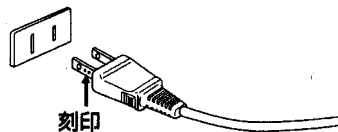


白(L)端子には白プラグを、赤(R)端子には赤プラグをつなぎます。つなぐときはプラグを端子にしっかり差し込んでください。しっかり差し込まないと雑音の原因になります。



2 電源コードをコンセントにつなぐ。

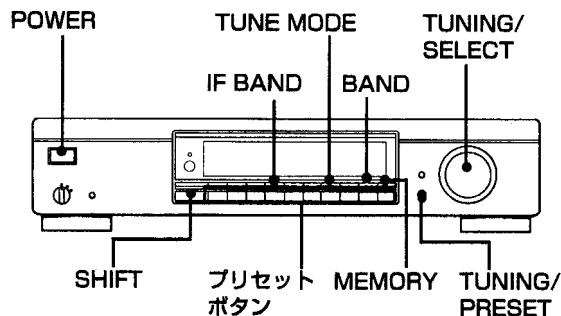
プラグに刻印(●●)が入っている側を壁のコンセントの差し込み口の長いほう(アース側)に来るように差し込みます。各機器の電源コードの極性を合わせ、より良い音質で音楽をお楽しみいただくためです。



接続がすべて終わったら、次の「放送局を受信し登録する」に従って放送局を登録させておくと便利です。

放送局を受信し登録する (プリセット)

FM局とAM局を合わせて40局登録することができます。A、B、C、Dの4つの記号と0から9の数字を組み合わせたプリセット番号で登録できます(例: A1、B6、C9)。登録した内容は電源を切った状態でも、約1ヶ月間保存されます。



放送局を受信する(自動受信)

電波の強い放送局を探して自動的に止ります。次のことを確認してください。

- 表示窓に「WIDE」と「AUTO」が表示されている。表示されていないときは、IF BANDボタンとTUNE MODE ボタンをそれぞれ押して表示させてください。

- BANDボタンを押してFMまたはAMを選ぶ。
- TUNING/PRESETボタンを押して「TUNING」を表示させる。
- TUNING/SELECTつまみを回して希望の局を選局する。
周波数を高くするには右に回す。
周波数を低くするには左に回す。
周波数が変わり始めたらつまみから手を離します。放送を受信すると自動的に止まります。希望する局が受かるまで繰り返してください。

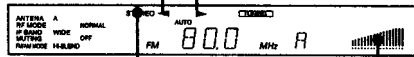
電波が弱く、希望の局で止まらないときは(手動受信)

- BANDボタンを押してFMまたはAMを選びます。
- FM放送を受信するときは、MUTINGボタンの設定をOFFにしてください。
- TUNE MODEボタンを押して「AUTO」を消します。
- TUNING/PRESETボタンを押して「TUNING」を表示させます。
- TUNING/SELECTつまみを回して希望の局の周波数に合わせます。

☀ 操作中、表示窓には下記のように表示されます

TUNING/SELECTつまみ
みを左に回すと点灯。
(周波数減少時)

TUNING/SELECTつまみ
を右に回すと点灯。
(周波数増加時)



ステレオで受信されると点灯。

シグナルインジケータ
受信した電波の強さを表す。

放送局をプリセットする

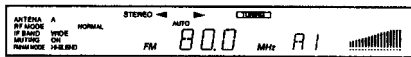
- 1 「放送局を受信する(自動受信)」の方法で希望の放送局を受信する。
- 2 SHIFTボタンを押し、希望の記号(A、B、C、D)を選ぶ。
SHIFTボタンを押すたびに表示窓の「A、B、C、D」の表示が切り換ります。



- 3 MEMORYボタンを押す。
約4秒間「MEMORY」が表示され、プリセット番号部分が点滅しているあいだに4の操作をしてください。

「MEMORY」が消えたときは
もう1度MEMORYボタンを押します。

- 4 プリセットボタン(0～9)で希望の番号を選ぶ。

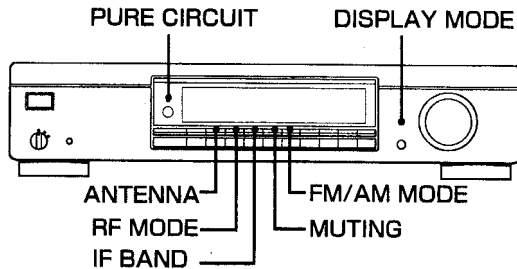


- 5 希望の局をプリセットし終わるまで1から4の手順をくりかえす。

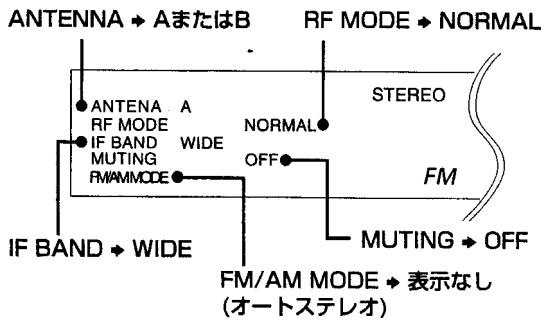
基本的な使いかたは、「放送局を受信する」(3ページ)をご覧ください。

より良い受信のための機能

良い音質で聞くために、また弱い電波の局でも受信しやすくするために、本機にはさまざまな機能があります。それらの機能を有効に使うため、まず標準の設定で聞いてみてください。この設定で受信状態が良くない場合は、下記の表を参考にして設定を変えてください。



標準設定時の表示窓



ボタン	設定と働き
ANTENNA (FMのみ)	放送局に合わせてFMアンテナ端子AまたはBを選びます。5ページの「2本のFMアンテナを使うことができます」を参照してください。
RF MODE (FMのみ)	NORMAL: 通常はこの位置にします。 DIRECT: RFアンプを通らないので音質がよくなります。受信電波の強い放送局のみにご使用ください。
IF BAND (FM受信時)	WIDE: ひずみ率が低く、良い音質で受信できます。 NARROW: 強い電波の隣接局があるときにこの位置にします。選択度がよくなり、妨害の少ない受信ができます。
IF BAND (AM受信時)	WIDE: 広い周波数帯域で受信するので、より臨場感のあるAMステレオ放送が楽しめます。 NARROW: ビート音や高域の雑音が多いときはNARROWにしてください。雑音が抑えられて聞きやすくなります。

ボタン	設定と働き
MUTING (FMのみ)	ON: 電波の強い放送局を受信するとき、この位置にします。FM放送の局間ノイズ(ザーという音)を取り除きます。 OFF: 電波の弱い放送を受信するとき、この位置にします。手動受信するときは局間に雑音があるので、アンプの音量を絞って選局してください。
FM/AM MODE	オートステレオ: 電波の強いステレオ放送を聞くときは、HI-BLEND、MONO表示を消し、オートステレオにします。 HI-BLEND (FMのみ): 高音部に雑音が入り聞きにくいとき、この位置にします。雑音の少ないステレオ放送が聞けます。 MONO: 電波が弱く雑音が耳障りなとき、この位置にします。モノラルになりますが聞きやすくなります。

💡 PURE CIRCUITインジケータが点灯したときは
電源を入れた後、またはボタンやつまみを操作して約2秒たつとPURE CIRCUITインジケータが点灯します。デジタル回路が停止し、アナログ回路だけに切り換わったことを示しています。干渉のない純粋な音質が楽しめます。

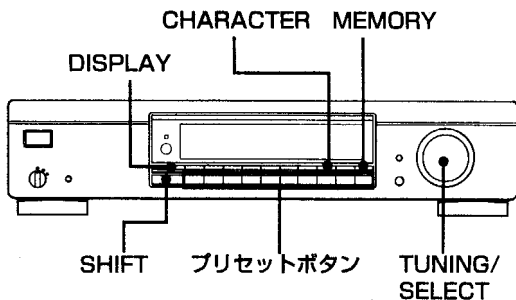
💡 放送局を登録(プリセット)するときには放送局と一緒に次の設定も局ごとに登録できます
FMのときのみ: ANTENNA (A/B), RF MODE (NORMAL/DIRECT), MUTING (ON/OFF)
FM/AMのとき: IF BAND (WIDE/NARROW), FM/AM MODE (FM: オートステレオ状態/HI-BLEND/MONO) (AM: オートステレオ状態/MONO)

💡 表示窓の表示を消すと、干渉のない音になり、より高音質で楽しむことができます
表示が消えるまでDISPLAY MODEボタンを押します。設定状態を知るには(登録した局を受信しているときのみ)、受信している局のプリセットボタンを押します。すべての表示が2秒間点灯します。

ご注意
インバーター方式の蛍光灯の近くに本機を置くとPURE CIRCUITインジケータが点滅する場合があります。その際は本機と蛍光灯を離してお使いください。

放送局名を表示する

プリセットした局に最大4文字までの局名を記憶させ、受信した時に周波数の代わりに局名を表示することができます。



1 局名表示したい局をSHIFTボタンとプリセットボタンで選ぶ。

「放送局を受信する」(3ページ)をご覧ください。

2 CHARACTERボタンを押す。

周波数表示が消え、カーソルが点滅します。

3 TUNING/SELECTつまみを回し、文字を選ぶ。

局名表示で使える文字はスペースを含む以下の57文字です。TUNING/SELECTつまみを右へ回すとスペースから順番に表示され、左へ回すと逆の順番で表示されます。

スペース, A, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K, L, M, N, O, P, Q, R, S, T, U, V, W, X, Y, Z, *, +, -, /, \, 9, 8, 7, 6, 5, 4, 3, 2, 1, 0, ㊦, ㊧, ㊨, ㊩, ㊪, ㊫, ㊬, ㊭, ㊮, ㊯, ㊰, ㊱, ㊲, ㊳, ㊴, ㊵, ㊶, ㊷, ㊸, ㊹, ㊺, ㊻, ㊼, ㊽, ㊾, ㊿, ー

4 希望の文字が表示されたら、CHARACTERボタンを押す。

文字を間違えたときは

CHARACTERボタンを押して、訂正したい文字を点滅させ、(ボタンを押すごとに次の文字が点滅します) TUNING/SELECTつまみを回して文字を選びます。

5 3～4の操作を繰り返して文字を入力する。

6 MEMORYを押す。

「FILE」が表示され、局名が記憶されます。

☛ 表示した局名の周波数を見るときはDISPLAYボタンを押します。

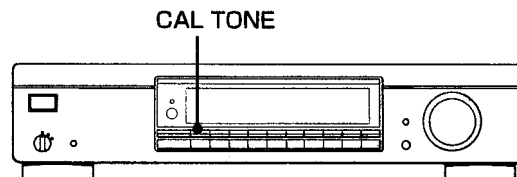
押すたびに局名表示と周波数表示が切り換わります。局名が記憶されていないとDISPLAYボタンを押しても周波数表示のままになります。

ご注意

記憶させている途中で操作が8秒以上中断すると通常の表示に戻ってしまいます。もう1度手順2からやり直してください。

録音レベル調節に便利なキャリブレーショントーン

本機には400Hz、50%変調相当の信号を出すキャリブレーショントーン機能があります。キャリブレーショントーンを利用してテープデッキやMDレコーダーの録音レベルを調節すると便利です。



1 テープデッキやMDレコーダーを録音待機状態にする。

2 CAL TONEボタンを押す。

「CAL」を表示させる。

キャリブレーショントーンが出ます。

3 テープデッキやMDレコーダーの録音レベルを調節する。

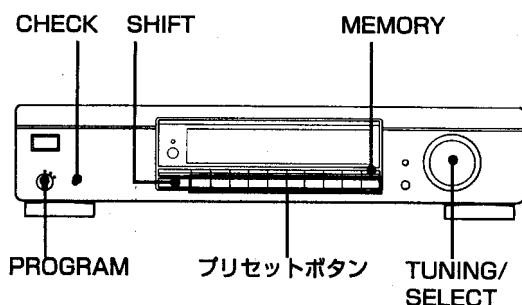
通常、最大録音レベルから約6dB引いた値までレベルメーターが振れるように調節します。

キャリブレーショントーンを解除するときには

もう1度CAL TONEボタンを押して「CAL」を消します。

タイマーを使って予約受信する

別売りのタイマーを使うと、あらかじめ登録しておいた放送局(「放送局を受信し登録する」6~7ページを参照してください)を電源が入るたびに4回まで予約受信できます(プログラム受信)。留守録音などに便利です。タイマーの取扱説明書も併せてご覧ください。



1 別売りのタイマーで希望時刻を設定する。

2 PROGRAMスイッチをSETの位置にする。

「PROGRAM 1」が表示されます。

3 MEMORYボタンを押す。

約4秒間「MEMORY」が表示され、プリセット番号が点滅しているあいだに4の操作をしてください。

4 SHIFTボタンとプリセットボタンでプログラムする局のプリセット番号を入力する。

放送時間の一番早い局から順に4つまでのプリセット番号を入力してください。入力することにより「PROGRAM 2」、「3」、「4」と順に表示され、この順番でプログラムされます。

「MEMORY」も4秒間ずつ点灯します。

プリセットボタンを押す前やプリセット番号の入力の途中で「MEMORY」が消えたときはもう1度手順3から始めてください。

5 PROGRAMスイッチをLOCKの位置にする。

タイマーによって自動的に電源が入るとプログラム1に設定した放送局から順に受信されます。

予約受信をやめたいときは

PROGRAMスイッチをOFFの位置にします。

プログラムした順序を確認めるときは

1 PROGRAMスイッチをSETの位置にします。

2 CHECKボタンを押します。

プログラムされた放送局が順に約2秒間ずつ受信され、受信中の局のプログラム番号が点灯します。プログラムされている局をすべて呼び出し終わると、最後にプログラムされている局を受信します。

3 確かめたあとはPROGRAMスイッチをLOCKの位置にします。

☀ プログラムを作った後で他の局を聞くと

きはPROGRAMスイッチをOFFの位置にしてから、放送局を選んでください。タイマー受信に戻すときはPROGRAMスイッチをLOCKの位置に戻します。

ご注意

- 電源が入ったまま自動的に放送局を切り換えることはできません。8時にプリセット番号A1からプリセット番号A6に放送局を切り換えるときは、7時59分に電源が切れ、8時に再び電源が入るようにタイマーを合わせてください。
- 1度作ったプログラムの取り消しや変更はできません。新たにプログラムしなおしてください。

使用上のご注意

設置場所について

次のような場所には置かないでください。

- ぐらついた台の上や不安定な所。
- じゅうたんや布団の上。
- 湿気の多い所、風通しの悪い所。
- ほこりの多い所。
- 直射日光が当たる所、温度が高い所。
- 極端に寒い所。
- テレビやビデオデッキから近い所。
(テレビやビデオデッキといっしょに使用するとき、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。特に室内アンテナのときに起こりやすいので屋外アンテナの使用をおすすめします。)
- 冷蔵庫や蛍光灯から近い所。
(雑音の原因となることがあります。ヘアードライヤーや電気カミソリなども同時に使用しないでください。)

本体のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

ステレオを聞くときのエチケッ

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲にはよく通るものです。

窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。



故障かな?と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出す前にもう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

音が出ない。

- 接続コードのプラグをしっかりと差し込んでください。
- アンプの入力切り換えが間違っていないか確認してください。

雑音が多い。

- FMアンテナが他の信号を受信してしまうので、同軸ケーブルに変えてみてください。
- 接続コードが変圧器やモーター、テレビ、蛍光灯から3m以上離れていることを確認してください。
- アンテナの向きを変えてください。
- アンテナをテレビなどと共用している場合は、分配器をご使用ください。

受信できない。

- アンテナを接続してください。
- 電波の弱い局を受信するときは、MUTINGをOFFにしてください。(8ページ)

プリセットボタンを押しても受信できない。

- 正しい周波数をプリセットしたか確認してください。

表示窓に正しい表示が出ない。

- 内蔵のマイクロコンピューターがうまく機能していない。電源を切り、プリセットボタンの9と0を押しながら、POWERスイッチを押して電源を入れてください。(ただし、これで本体内のマイコンがリセットされ初期状態に戻るため、メモリーやプログラムした放送局も消去されます。)

ボタンを押しても表示が変わらない。

- PROGRAMスイッチをOFFの位置にしてください。

PURE CIRCUITインジケーターが点滅する。

- インバーター方式の蛍光灯が本機の近くにあると点滅することがあります。本機と蛍光灯を離してください。

リモコンで操作できない。

- リモコンと本体の間にある障害物を取り除いてください。
- 本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンの乾電池を交換してください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書の「故障かな?と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「サービス窓口、ご相談窓口のご案内」にある近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間の経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、ステレオの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間を経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名: ST-SA5ES
- 故障の状態: できるだけ詳しく
- 購入年月日:
- お買い上げ店:

主な仕様

システム

回路方式 PLLデジタル周波数シンセサイザー
クォーツロック方式

FMチューナー部

受信周波数 76.0~90.0MHz
中間周波数 10.7MHz
S/N 100dB (モノ)、92dB (ステレオ)
感度

S/N 50dB感度

	新IHF	IHF
モノ	16.8dBf	1.8μV
ステレオ	37.9dBf	22.5μV

実用感度

新IHF: 10.3dBf
IHF: 0.9μV

高調波ひずみ率

WIDE時: 0.004% (モノ)、
0.0075% (ステレオ)
NARROW時: 0.04% (モノ)、
0.07% (ステレオ)

ステレオ分離度 (1kHz)

70dB (WIDE)、50dB (NARROW)

周波数特性 実効選択度

15Hz~1.5kHz ±0.2dB
65dB (300kHz、NARROW)、
70dB (400kHz、WIDE)

イメージ妨害比 出力

100dB
750mV、600Ω (75kHz dev.)

AMチューナー部

受信周波数 531kHz~1,602kHz
中間周波数 450kHz
感度

200μV/m (AMループアンテナ使用時)
30μV/m (外部アンテナ)

S/N 54dB (モノ)、48dB (ステレオ)

高調波ひずみ率

0.3% (400Hz モノ)、
0.6% (400Hz ステレオ)

ステレオ分離度 選択度

30dB (400Hz)
35dB (9kHz、NARROW)

電源、その他

電源 AC100V、50/60Hz
消費電力 20W
最大外形寸法 430x100x360mm(幅/高さ/奥行き)
質量 約6kg
付属品 AMループアンテナ(1)、
FMフィーダーアンテナ(1)、
接続コード(1)、
アンテナコネクター(75/300Ω、
F型)(1)、リモコン(1)、
ソニー単3形乾電池SUM-3(2)、
ソニーサービス窓口・ご相談窓口のご案内
(1)、保証書(1)

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客先ご相談センターへ

●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2811 ●大阪(06)539-5111

Printed in Japan

仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。